

テラセル路盤補強工法

農林道・市町村道の轍掘れ軽減対策工に

テラセルを使用した路盤補強工法とは、路盤上に展開したテラセルに碎石またはグリズリアンダー材を充填し、テラセルの拘束効果により安定した路盤を構築することで、車両の輪荷重を分散し、轍掘れや不等沈下を軽減して路盤の強化・安定をはかる路盤安定システムです。

特長

■ 高い耐久性・耐薬品性

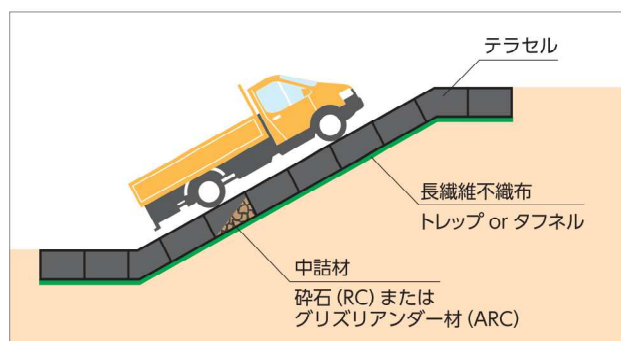
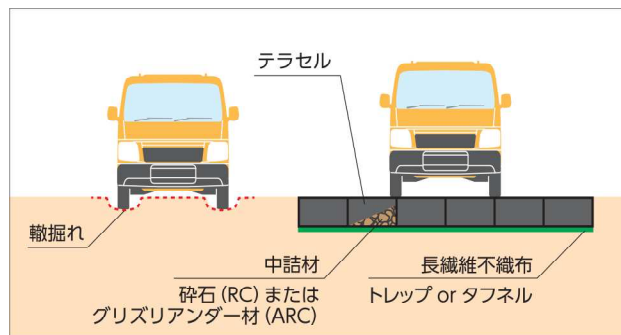
テラセルは、原料の高密度ポリエチレンに耐候安定剤が配合されており、耐候性に優れています。長期にわたって太陽光線、風雨等による劣化がありません。また、酸性土・アルカリ性土（石灰・セメント安定処理土）に対しても十分な耐薬品性を有しています。

■ 簡単に素早い施工性

使用する部材が少なく、施工方法も展開・充填・転圧の繰り返し作業のため、施工期間の短縮が可能です。柔軟性にも優れており、路面の起伏や曲がりにも追従します。また、コンクリートを使用しないため養生期間が不要で工期短縮が可能です。

■ 軽量でコンパクト

高密度ポリエチレン製のテラセルは、軽量で圧縮強度を有するハニカム構造です。製品納入時はコンパクトに畳んであり、広い保管場所を必要としません。また、場内での運搬も、軽量なため、人力のみで可能です。



テラセル路盤補強工法の主な効果

テラセルに中詰材を充填し路盤の安定処理を図ることは次のような場合に効果があります。

1. 路盤の必要掘削深度を最小限に抑えることができるため、掘削による発生土も最小限に抑えられます。発生土の搬出や処分が困難な場所に適しています。
2. 砂利舗装の場合、雨水の水路ができません。常に安定した舗装面を維持します。環境を考慮した雨水の浸透による排水を図る場合に優れた効果を発揮します。

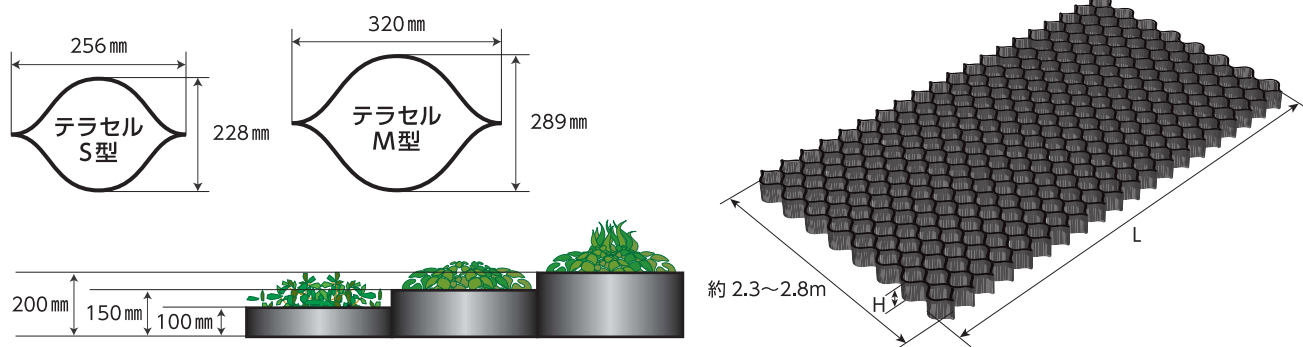


■ テラセル路盤補強工法用 製品規格

セルサイズ	セルサイズ (H×W)	型式	標準展開寸法 (H×W×L)	セル数	展開面積
S 型	228mm × 256mm	T-100S・SP	100mm × 2.56m × 6.84m	10 × 30 (横×縦)	17.51㎡ (1枚当たり)
		T-150S・SP	150mm × 2.56m × 6.84m		
		T-200S・SP	200mm × 2.56m × 6.84m		
M 型	289mm × 320mm	T-100M・MP	100mm × 2.56m × 8.67m	8 × 30 (横×縦)	22.19㎡ (1枚当たり)
		T-150M・MP	150mm × 2.56m × 8.67m		
		T-200M・MP	200mm × 2.56m × 8.67m		

※上記製品規格以外は、特注生産になりますので、ご相談ください。

■ セルサイズと標準展開寸法



テラセル路盤補強工法 施工手順

1 施工前



2 長繊維不織布敷設



3 テラセル展開



4 テラセル接続



5 中詰材充填・転圧



6 完成



テラセル路盤補強工法

工事用道路



施主：北陸地方整備局長岡国道事務所
工事名：国道 289 号外ノ沢流路他その 2 工事
概要：T-100MP、道路縦断勾配 15%

駐車場



施主：民間
工事名：某民間工場臨時駐車場基礎路盤
概要：T-100M

民間



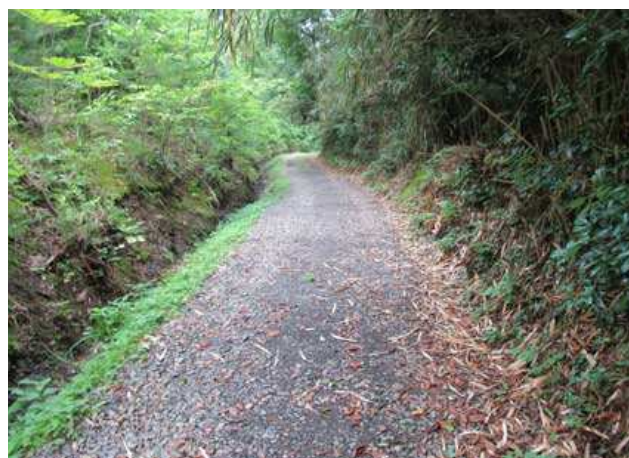
施主：民間
工事名：軽井沢別荘進入路碎石舗装補強用
概要：T-100S、道路縦断勾配 13%

仮設道路



施主：新潟県南魚沼地域振興局
 工事名：県営農地整備新外谷地区第26-1次工事
 ■概要：T-100MP、道路縦断勾配20%

市道



施主：新潟県佐渡市役所
 工事名：市道沢根91号線路盤復旧工事
 ■概要：T-100MP、道路縦断勾配10%

農道



施主：新潟県南魚沼市役所
 工事名：大崎地区農地・水保全管理対策交付金農道整備工事
 ■概要：T-100MP、道路縦断勾配10%